

別紙 2（任意評価様式第 3 号）

農山漁村活性化振興交付金

山村活性化対策

令和元年度 事業実績評価 資料

事業主体 小国町

山形県西置賜郡小国町

令和元年度 農山漁村振興交付金（活性化対策）実施状況

I 令和元年度事業実施計画及び実績について

(1) 事業目標に関する成果目標

指標	H29	1年目 (H30)	2年目 (R1)	事業目標の 達成年度 (R2)
(所得に関する指標) 本事業による年間売上の総額	—	—	—	100 万円
(雇用に関する指標) 本事業による新規雇用者	—	—	—	1 名
(販売額や商品開発数等の上記以 外の指標) 新商品及びコラボメニューの商品開 発数(累計)	—	—	—	3 件

(所得に関する指標)

- ・山菜やきのこ、米・雑穀を中心とした新商品、新メニューの開発及び販路拡大事業者ごとの年間売上の総額（対 29 年度）

(雇用に関する指標)

- ・山菜やきのこ、米・雑穀を中心とした新商品、新メニューの開発及び販路拡大事業者における新規雇用

(販売額や商品開発数等の上記以外の指標)

- ・山菜ときのこ、米・雑穀における新商品及びコラボメニュー開発数（累計）
山菜ときのこ、米・雑穀に関する新たな商品開発又はコラボメニューの数を目標とする。

(2) 令和元年度実績（参考）

① 本事業による年間売上の総額(目標値 100 万)

R2. 3月末現在

事業者（商品名）	H29 (A)	H31 (B)	(B)－(A)	達成の可否
白い森よこね 物産直売所 (白い森の 白いわらび餅)	0 円	2,098,000 円	2,098,000 円	達 成
白い森よこね 物産直売所 (白い森の 雑穀ソフトクリーム)	0 円	862,000 円	862,000 円	
小国きんたけ工房 (白い森の きのこハウス)	0 円	281,600 円	281,600 円	
合 計	0 円	2,858,800 円	2,858,800 円	

なお、白い森のブランド品（山菜、米、きのこ、雑穀、その他）の PR を行うとともに、各イベント会場において、物産販売を行った結果、参加事業者における売上については、以下のとおりであった。

(参考)

山村活性化対策事業販売実績（イベント出店販売データ）				
				【単位：円】
	H29	H30	H31	計
きのこ	65,950	465,430	569,600	1,100,980
山菜	22,210	142,430	230,590	395,230
米	3,450	94,940	72,600	170,990
雑穀	71,720	100,220	45,450	217,390
その他	49,850	282,690	526,620	859,160
	213,180	1,085,710	1,444,860	2,743,750

②本事業による新規雇用者（目標値 1 名増）

当該補助事業において振興してきた「きのこ」の主たる生産及び販売事業者である「農業法人小国きんたけ工房」において、しいたけやきくらげの増産体制強化、販路拡大に伴う雇用増があった。

				年度中の雇用者数
	H29	H30	H31	達成の可否
理事	5 名	5 名	5 名	達 成
社員（従業員）		2 名	1 名	
パート			4 名	
合 計	5 名	7 名	10 名	
H29 対比		2 名増	5 名増	

③新商品及びコラボメニューの商品開発数(累計)(目標値 3 件)

番号	商 品 名	開発事業者	商品画像	達成の可否
①	白い森の 雑穀ソフト クリーム (H30)	小国町地域総合商社 白い森よこね物産直 売所		達 成
②	白い森の 白いわら び餅 (R1)	小国町地域総合商社 白い森よこね物産直 売所		
③	白い森の きのこハ ウス (R1)	小国町地域総合商社 小国きんたけ工房		
商品開発の総数			3 件	

Ⅱ 令和元年度事業実施計画及び実績について

(1) 地域資源の賦存状況・利用形態等の調査

①先進地地域ブランド調査事業

※令和元年度の当初事業計画にはなかったものの、参加予定であった山の恵みマッチング事業の実施計画の変更により事務局より推薦のあった都内の店舗について視察を行った。

<事業実績>

実施事業：商品開発や販売促進活動の参考になる東京都内の店舗視察

日 時：令和2年2月3日(月)～5日(水)

会 場：東京都港区港南 2-18-1 アトレ品川 3 階
東京都千代田区丸の内 1-9-1 ほか

参 加 者：白い森ブランド戦略室2名、小国町地域総合商社1名

内 容：1) 商品開発や販売促進活動の参考になる店舗視察
2) 山村活性化事業関連事業者との協議

事 業 費：95,880円（補助対象外）



店舗概要：【FOOD&TIME ISETAN】

「発信型ライフスタイルストア」を目指し、高感度なお客さまに、食に関する専門性と食から広がるライフスタイルを提案。お客さまのニーズに合わせ、フロアを「嗜む（リカー・ワインバー・菓子・デリ）」、「作る（青果・畜産・水産）」、「食べる（フードコート）」、「過ごす・暮らす・学ぶ（カフェ・雑貨・書籍）」の4つのエリアで構成し、時間帯に応じて、異なる MD、サービスを提供。

【KINOKUNIYA グランスタ丸の内店】

東京駅グランスタ丸の内にある便利なエキナカ店舗。お惣菜からパン、ドリンクなどランチにおすすめなアイテムから、お酒、おつまみまで取り揃えている。

(2) 地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材育成

①地域ブランド戦略検討事業

【実施概要】

特産品の魅力について表現、発信するための研修会を開催した。

<事業実績>

実施事業：白い森まるごと塾 (Vol.10) 「今日からできる！手書きPOP講座」

日 時：令和元年8月7日(水) 14:30 ～ 17:00

会 場：旬菜レストラン あいあい (おぐに地域産業館)

講 師：手書きPOPデザイナー 遠藤 みさき 氏

内 容：山菜・きのこ・米・雑穀を用いた特産品の開発等をすすめているが、それらの商品をより魅力的に発信して売り上げの向上を図るために、経費のかからない手軽な手段である手書きPOPの役割と効果や、キャッチコピーの作り方等に関する講座を開催した。

参 加 者：25名 (町内特産品販売関係者及び生産者ほか)

結 果：手書きPOPは経費や時間をかけずに商品をPRする効果的な手段であるが、あらためてその役割と効果について確認することができ、大変有意義であった。実際のPOPを示しながらの講義であったため、とてもわかりやすく、またキャッチコピーの作り方もあわせて教えていただき、各自の商品やサービスについて、考える良い機会となった。

事 業 費：95,580円



事業成果：事前にPOPの対象となる各自の商品等を持ってくるよう周知していたため、実技ではその商品のPOP制作を行った。ペンの使い方や色使い、レイアウトなど、一人ひとりに丁寧に指導いただいたため、参加者のスキルアップが図られた。参加者のアンケートからも、セミナーに対する高い評価が得られた。すぐにビジネスに活かしたいという感想が多く、フォローアップを求める声もあった。

(3) 地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上等を図る取組

①地域ブランドプロモーション事業

【実施概要】

これまでの実績を踏まえて更なる改良や開発を行った商品について、前年までに引き続き「ふるさと交流ショップ」や「NSTまつり」「若葉台団地秋まつり」等のイベントに出展し、試食やアンケート等を実施した。

また、本事業の集大成として、白い森ブランドとなる商品や地域特産品を中心に道の駅において「白い森まるごとF e s t a」を開催し、町内外の来場者に対してPRを行った。

<事業実績>

実施事業：ふるさと交流ショップ台東出展

日 時：令和元年6月6日（木）～6月11日（火）

会 場：東京都台東区浅草4丁目36番5号 ふるさと交流ショップ台東

参 加 者：白い森ブランド戦略室6名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員5名

結 果：1）特産品の試食及び販売（売り上げ 924,100円）

2）白い森おぐにのPR

（商店街でのアナウンス、プロモーション動画、観光パンフ等による）

3）白い森ロゴマークノベルティ（タオルハンカチ）の配布

（配布実績 264着）

事業費：525,060円（協議会 18,077円）



事業成果：わらびや蒨については、自宅であく抜き等の処理を行える方が多く、完売となった。ごぼうあざみは知らない方が多かったが、試食や説明によって購入に繋がり、全体的に山菜は好評であった。

商店街の飲食店で小国の食材を使用したケースはあるものの、事業者同士の取引等には至っていないため、継続した取引にどう繋げるかが課題である。

<事業実績>

実施事業：山形県観光物産市出店

日 時：令和元年8月4日（土）

会 場：山形市七日町から本町、十日町十字路までの国道112号線上

参 加 者：おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員2名

内 容：1）雑穀関連商品の出店

2）観光パンフ等チラシの配布による白い森の国おぐにのPR

事業費：18,200円（協議会 2,700円）



事業成果：雑穀甘酒、たかきびジェラート等小国町の雑穀関連商品のPRができた。

<事業実績>

実施事業：NSTまつり（新潟市）への出展

日 時：令和元年 9月28日（土）～29日（日）

会 場：新潟市万代シティパーク及び万代十字路

参 加 者：白い森ブランド戦略室5名、町若手職員2名

おぐにまるごと農商工NW協議会員10名、新潟日報事業社2名

内 容：1）白い森おぐに秋のイベントPR

・チラシ配布、ポータルサイトへの誘導、ノベルティプレゼント

2）特産品（山菜、きのこ、米、雑穀等加工品）のPR・試食、販売

・きんたけ工房のきのこ関連商品の試食、販売

・白い森よこね物産直売所の雑穀ソフトクリーム、やまがた芋煮販売

・おぐに地鶏フーズの唐揚げ、ピザ、地鶏鍋

事業費：4,320円



事業成果：・椎茸、木耳については試食を行い、肉厚な食感、味の濃さを体感していただいたため、購入に繋がりやすかった。初日に木耳を購入し、おいしかったからと翌日また立ち寄ったお客様もいらしたため、他のイベントでの状況も考慮したうえで、きのこは小国町の主力商品に十分なりうるものと考えられる。

<事業実績>

実施事業：白い森まるごとFesta

日時：令和元年10月12日（土）～10月13日（日）

会場：道の駅白い森おぐに

参加者：白い森ブランド戦略室3名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員4名

内容：①新商品「白い森の白いわらび餅」の試食販売

②菌床栽培セット「白い森のきのこハウス」の展示販売

③白い森ロゴバックづくり

④SNS投稿キャンペーン

⑤かぼちゃランタンづくり（伊藤芳郎氏）

⑥旬菜レストランあいあいでの雑穀きのこ限定ランチ

⑦ハロウィンNightスペシャルディナー（BistroCOLORIS 川瀬彩シェフ）

事業費：323,338円（協議会 4,950円）



おぐに町をまるごと楽しむ2日間！

白い森まるごとFESTA

in 道の駅 白い森おぐに 参加無料

10/12(土)・13(日)

※ワークショップ※

白い森おぐにのロゴマークって知ってる？
白い森ロゴバックを作ろう

時間：10:00～16:00
場所：直売所内 休憩スペース
参加費：無料
※予約不要 ※所要時間 20分～30分

ハロウィン特別企画☆
カボチャのランタンを作ろう

時間：10:00～12:00
場所：直売所外 テントスペース
参加費：1,000円
※予約不要 ※所要時間 20分～30分

※イベント※

DANCE EVENT 10/12

集団・山形からダンスチームが登場！

日時：10月12日（土）
13:30～15:30
場所：レストラン前 広場

※常設展示※

白い森の新名物？
白いわらび餅 試食会

自宅で作簡単・栽培キット
きのこの菌床 展示・販売会

※ 白い森まるごと FESTA 限定 特別メニュー！ ※

雑穀きのこランチ

小国のおいしい雑穀ときのこの組み合わせを使った限定メニューをお楽しみください。

時間：11:00～14:00（予約不要）
場所：道の駅内 レストランあいあい

ハロウィン NIGHT 10/13

Bistro COLORIS 川瀬シェフによるスペシャルディナー

日時：18:30～20:00（予約制・定員30名）
場所：道の駅内 レストランあいあい 料金：3000円
予約TEL：0238-87-0821（小国町役場 総合政策課）

※来場者特典※

1 小国の思い出 SNS に投稿！
白い森オリジナルグッズ プレゼント

2 アンケートにお答えいただくと...
雑穀ソフトクリームが100円引き！



事業成果：ダンスイベントについては、台風の接近により大荒れの天候が予想されたため、安全確保の観点から前日11日に中止の判断をし、取りまとめを依頼していたスポーツクラブYuiに連絡をした。新商品のPRについて、当初は新直売所前入口の屋外スペースでのぼり等の販促物を使って大々的に行う予定であったが、屋内となったためトイレ休憩のお客様への呼びかけ等ができず、残念な結果となった。13日のハロウィンNightスペシャルディナーについては、川瀬シェフが東京からお越しになるため開催が危ぶまれたが、交通手段や日程を変更していただき、無事に開催することができた。参加者についても、予定の人数が集まり、小国の食材を使ったフレンチをお楽しみいただいた。

<事業実績>

実施事業：おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会

日 時：令和元年11月6日（水）午前10時30分～午後5時45分

会 場：仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山無番地）

参 加 者：白い森ブランド戦略室2名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員2名

事 業 費：60,000円（協議会 14,150円）



事業成果：個別の事業者と具体的な商談ができた。きんたけ工房6社美森ファーム4社が商談を行った。

<事業実績>

実施事業：若葉台交流事業（出展及び自治会との意見交換会）

日 時：令和元年11月2日（金）～3日（土）

会 場：東京都稲城市若葉台（ファインストーリア団地 会議室）

参 加 者：白い森ブランド戦略室4名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員3名

- 内 容：
- 1) 白い森おぐにのPR
 - 2) 雑穀ごはん、きのこ料理、やまがた芋煮の試食
 - 3) 特産品の販売
 - 4) 住民との意見交換会（前日）

事 業 費：434,683円



事業成果：一昨年に引き続き3回目の出展。別事業において、管理組合の方々に出展前に事前に小国に来ていただくことができ、相互交流が図られた。山菜やきのこ、米、雑穀など、具体的な取引について前向きな検討がなされており、今後、地域商社を絡めた展開手法を検討していくこととした。

<事業実績>

実施事業：町イチ！村イチ！2019出展

日時：令和元年11月29日（土）～12月1日（日）

会場：東京国際フォーラム及び有楽町駅前地上広場

参加者：町長、白い森ブランド戦略室1名

おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員1名

内容：1）白い森おぐにのPR

2）きくらげの和え物試食販売

3）特産品の販売（町長によるトップセールス）

事業費：185,720円（協議会 15,000円）



事業成果：通行客に対しては試食と呼びかけが有効であり、実際に商品を手にとって厚みやプリプリ感を感じてもらうなどにより多くの購買につながった。乾燥ものの売れ行きも非常に良かったため、持ち帰りが可能な商品については事業者側で多めに準備して追加発注に備えてもらうなど検討することとしたい。

<事業実績>

実施事業：a s s h新春フェスタ出展

日時：令和2年1月11日（土）～1月12日（日）

会場：新潟日報メディアシップ 1階

参加者：白い森ブランド戦略室4名、おぐにまるごと農商工ネットワーク協議会員2名

内容：1）白い森おぐにのPR

2）特産品（きのこ関連、雑穀関連、つる細工）のPR・販売

事業費：320,100円



事業成果：白い森のきのこハウスについては興味を持つお客様が多く、特に子ども連れのお客様の関心が高かった。箱のデザインも好評で、完売となった。新潟圏においては、道の駅の名称ということもあって「白い森」は一定程度の認知度があるものの、道の駅以外への観光、特産品の購入に結び付くよう、引き続き重点的なプロモーションを実施していくこととしたい。

<事業実績>

実施事業：GOLDEN FESTA

日 時：令和2年3月8日(日)

会 場：旬菜レストラン あいあい（おぐに地域産業館）

参 加 者：町長、白い森ブランド戦略室4名、青い星と白い森

内 容：1) 白い森おぐにのPR
2) きくらげの和え物試食販売
3) 特産品の販売

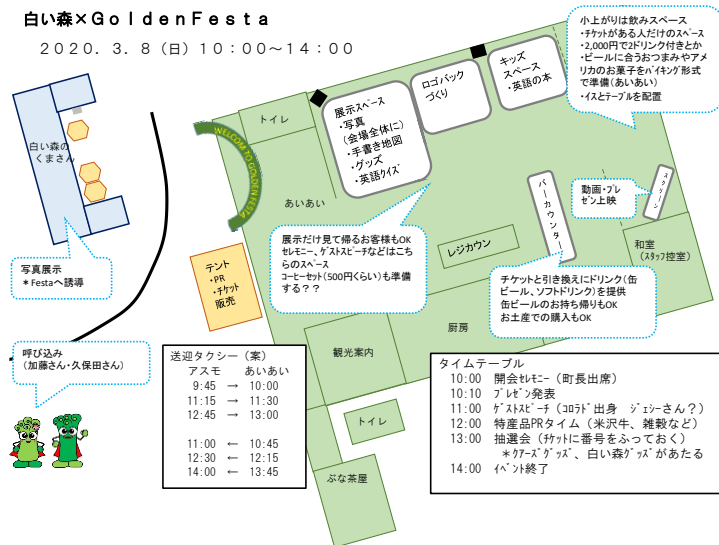
事 業 費：0円

※新型コロナウイルス感染対策の影響で中止



白い森×GoldenFesta

2020. 3. 8 (日) 10:00~14:00



<事業実績>

実施事業：山形県の物産と観光展・おいしい山形フェア

日 時：令和元年12月9日(月)～15(日) 7日間

令和2年1月20日(日)～21(月) 2日間

会 場：新宿駅西口広場イベントコーナー

銀座おいしい山形

参 加 者：おぐにまると農商工ネットワーク協議会員1名

内 容：1) やまがた地鶏の販売
2) 白い森特産品販売とPR

事 業 費：補助対象外事業(協議会 60,000円)

事業成果：おぐに地鶏フーズでは、山形県との連携により新宿西口イベントや銀座のおいしい山形フェアに参加し、好評を得た。



② 特産品ブランドプロジェクト事業

新たに開発した商品の付加価値を高めるための販促ツールや、白い森ブランドとなる商品を紹介するパンフレットを作製した。

< 事業実績 >

実施事業：菌床栽培キット外装箱（白い森のきのこハウス）

業 者：(株)エスパック

内 容：菌床栽培キット外装箱 500 箱

事業費：194,700円



実施事業：白い森まるごとブランドパンフレット

業 者：(有)加藤印刷

内 容：パンフレット印刷 10,000 部

事業費：535,700円



実施事業：白い森の白いわらび餅販売促進

業 者：(株)生産者直売のれん会

内 容：わらび餅、販売促進物（のぼり旗、パネル、ロウサンプルほか）

事業費：770,000円



<事業実績>

実施内容：アルバイトの雇用

対 象 者：岩本綾乃

内 容：1) 白い森まるごと塾等業務補助

2) 地域イベント出展業務作業補助、首都圏等ブランド PR 出展業務作業補助

事 業 費：9 1 1, 0 1 6 円

実施事業：特産品ブランド化業務委託

事業期間：令和元年6月24日から令和2年3月16日

事 業 者：(株)生産者直売のれん会ほか

内 容：1) マーケティング業務

2) 商品企画開発支援業務

結 果：お土産品開発検討委員会の継続開催により、白い森の雑穀ソフトクリーム、白い森の白いわらび餅等の商品を開発

事 業 費：2, 2 0 0, 0 0 0 円

